

令和6年6月20日（木曜日）
山梨県感染症対策センター
感染症対策グループ
対策監 遠藤 攝
電話 055-223-1505

報道関係者 各位

新型コロナウイルス感染症 変異株（XDQ.1系統及びKP.3系統）の確認について

県内で発生した新型コロナウイルス感染症の患者の検体について、ゲノム解析を行った結果、県内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症の変異株（XDQ.1系統及びKP.3系統）であることが確認されました。

変異株の概要

○ XDQ.1系統

- ・ BA.2.86系統とXBB.1.5系統の組み換え体であるXDQの系統。国内で減少傾向。

○ KP.3系統

- ・ JN.1系統の亜系統。アメリカ等で感染が拡大中で、国内でも増加傾向。
- ・ WHOが「監視下の変異株」に分類。（発生状況や基本的性状を情報収集し、サーベイランスで監視）

※国立感染症研究所が発表した「民間検査機関の検体に基づくゲノムサーベイランスによる系統別検出状況」では、直近4週間（5月6日～6月2日）はKP.3系統が54.48%、XDQ.1系統が20.9%を占めるとのこと。

【県CDC専門医の見解】

- ・ リスク評価について WHO においても発表がありませんが、どちらもオミクロン株で、現時点で病原性や感染力についての十分な報告はなく、これまでの株と大差ないと考えられます。
- ・ WHO が監視下に指定する KP.3 系統は JN.1 系統の亜系統ではありますが、JN.1 系統において病原性を増しているとの報告がないほか、KP.3 系統の感染が拡大している海外においてもそうした報告は今のところありません。しかし、KP.3 系統は JN.1 系統よりも免疫を回避する能力が高いことが予想されるため、今後、県内で感染拡大を引き起こす可能性があります。
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方は重症化する恐れがありますので、そうした方々が周りにいる場合は、引き続き、手洗い、換気、マスク着用等咳エチケットなどの予防対策をお願いします。

※これまで、県内で新たに変異株が発見された場合にプレスリリースしてきましたが、今後はWHOが「懸念される変異株」等として分類する変異株が県内で新たに確認された場合にプレスリリースを行います。